

テニス ジュニアデビス杯代表

なか じま さとる
中島 暁(16) = 松本第一高



テニスの16歳以下国別対抗戦に日本代表として出場する中島暁

競技ヒト

信州スポーツ群像

国際大会で「武器」磨く

テニスの16歳以下国別対抗戦、ジュニアデビス杯(28日～10月3日・トルコ)に日本代表3人の一員として出場する。幼少期から国内外の大きな舞台を経験してきた中島にとって、初めての本格的な国際大会。「自分の武器を見つ

けるチャンス。攻めるテニスで勝ちにいきたい」と気持ちを高めている。8月の全日本ジュニア選手権16歳以下男子シングルスに第6シードとして臨み、ベスト4の成績を残したことなどが評価された。同選手権で

は、それまで課題と自覚してきた気持ちの強さを前面に出すプレーを意識し、「声を出してファイトできた。目標は優勝だったけれど、自信や成功体験をつかめた」と感を破った。テニスを始めたら歳ごろか

ら「エムスタイルテニスアカデミー」(松本市)に所属して力を磨いてきた。早くから頭角を現し、小中学生時代には豪州とニュージーランドの3カ国による国際大会にも出場した。

打ち崩せず逆転負けしたことを踏まえ「競り合いの中で相手にプレッシャーをかけられるような武器が必要」と痛感したという。同アカデミー代表で中島を指導する斉藤政宏コーチ(46)は「難しいポジションでも質の高いフォアを打つ練習を重ねている。各国のエリートが集まる大会で刺激を受けてきてほしい」と期待する。

同年代のトップ選手の大半が競技に専念するため中学卒業と同時に通信制高校などの進路を選択する中、「今の自分にはテニスと学校生活を両立させることの方が合っている」と松本第一高へ進学。部活動とアカデミーでの練習を掛け持ちしながら大会を転戦している。

9月13日時点で901位のジュニア世界ランキングを高校在学中に100位前後まで上げることが当面の目標。ジュニア年代の世界最高峰「グランドスラム」(四大大会)「ジュニア」への出場を目指し、「攻めるスタイルを磨いていきたい」と力を込めた。

身長181センチの高さを生かしたサーブや、フォアでもバックからでも精度の高いショットを打てる万能型。一方で、全日本ジュニア選手権準決勝では粘り強く球を拾う相手を

(板倉 就五)